

設問C4-2-(1) (典礼に積極的に参加し共同体の一致を深める) に対する「その他」の具体的な回答

番号	回答内容
1	典礼勉強会、ミサオルガン勉強会に参加している。
2	ミサに参加
3	香部屋の奉仕をしている。
4	ミサが私たちの生活、生きることの中心であることを深く味わうことができるようなミサになれるよう、ミサに来られた方々との出会いも大切にしながら、参加している。
5	山のグループ、手芸のグループに参加する。
6	共同祈願を頼まれたときは、心を込めて唱えるようにしている。
7	教会の仕事に参加する。
8	カトリック卒業生のグループで積極的学習をしている
9	教会での典礼をできるだけ丁寧に、祈りの心をもってする。
10	教会に来ていない子どもにクリスマスカードを送るのをしようと思います。
11	今は何もできません。
12	修道院のミサで共同祈願をつくり捧げている。
13	教会で出会う人に、笑顔で挨拶し、言葉をかける。
14	外国籍の方にも、ミサの奉仕をお願いする。巡礼に来られた方に教会のパンフレットを渡し、お話する。
15	これまでと特に変化なし。
16	参加していない。
17	各グループが交代で祈願を行っている。
18	教会の兄弟姉妹と共に、自分たちにできる奉仕活動に務めている。お年寄り～若者まで
19	共同祈願の祈り等をアンテナを張っている。
20	教会学校での活動等、自分でできることから。
21	普段通り。
22	今は体制が整っているので、頼まれればいつでも協力したいと思っている。
23	聖歌隊とオルガン奉仕
24	小教区取組を話し合った。
25	自ら喜んでいる存在になる。
26	年齢、時間的制約があるので、「空きの時間を」利用して環境整備をしている。
27	特にない。個人的には活動していない。
28	日曜日に参加できない方に、典礼、教区報、お知らせを届ける。
29	・聖体奉仕者であるが、2年ほど参加していない。 ・聖歌を大きな声で歌っている。
30	高齢化した信者仲間たちとの一致を深めている。
31	万勝繰り合わせて参加することだと思う。ミサが始まれば私語はやめるべきですが、それまでは賑やかにおしゃべりしてもいいのでは？
32	朗読の大切さを一人一人が感じて、全員参加。
33	勉強会に参加
34	朗読奉仕や納骨堂委員をやっていたが、引退した。彼らの助けになるようにできることをやっている。
35	ミサを義務ととらえ、共同体というより個人を重視する傾向があるのでは。

番号	回 答 内 容
36	ミサ時のお花活けなどに参加しています。
37	生け花の奉仕
38	教会行事に積極的に参加して奉仕している。
39	週日ミサで聖書朗読に参加しています。
40	朝ミサのとき朗読している。
41	教会活動に参加している。
42	聖歌奉仕会。ロザリオ当番など
43	お花の会に入って活動しているが、典礼に含まれているかは？グループの中では、典礼と考えている。
44	ミサに与り、その後の触れ合いを意識する。
45	ミサ中の聖書朗読
46	ミサ後にお茶などを飲みながら交わりの場に監査するようにしている。
47	時々典礼奉仕している。
48	伊万里教会の神学生の召命の完成のための祈り
49	平日のミサにももっと参加していただきたい。
50	教会に向かう。
51	できるだけ進んでミサに参加し、共に生きる喜びを分かち合えるように大きい声を出している。
52	典礼委員長に推薦されたが、辞退したことを後悔している。（人間関係にて）
53	むつかしくてよくわかりません。
54	典礼のことはなかなかできませんが、依頼された朗読、その他の奉仕はしっかりとやろうと思っています。
55	平日のミサに参加している。
56	訪問し、家庭ミサを挙げられる司祭に同行し、支える。
57	主日のミサを深く味わう。
58	幼い子供付の人の手伝い
59	ミサに日曜学校の子どもたちに朗読してもらう。
60	納骨堂の世話役
61	朗読、草むしり
62	典礼奉仕に参加している。
63	修道院の「祈りの場」を一般信徒の方々に出来る限り開放している。（ミサや教会の祈りなどをともにする。）
64	小教区での共同祈願のことについて、「聖書と典礼」や「教会の祈り」の共同祈願を部分的に活用しつつ、具体的かつ突っ込んだ内容にしています。姉妹がた皆、工夫を凝らしておられます。
65	新しいミサ曲の練習に参加している。
66	会議に参加する。
67	この2年間のうちの1年くらいは典礼奉仕を定期的に行っていた
68	より集中して、綺麗な典礼を目指している
69	
70	設問2の「小教区として共同祈願を作っている」とはかなりずれたことを申し上げます。共同祈願は事前に司祭への確認(わたしの場合だけかもしれませんが。思想が片寄っていると思われるようです。確認はしていませんが、そう感じます)の必要があるため、よっぽどでない限り作ろうという気がしなくなりました。